

発生・発見日時 令和 7年 3月22日 9時 20分頃

菊川水系菊川 左岸 (14 km~15km付近)

お彼岸となりカワズザクラも葉ザクラとなっています。 本日はとても暖かいです。



菊川に流れ込む河川、排水を管理する

樋門や樋管について興味を持ちました。

下前田川の流入口に新しい樋門ができ

ました。 菊川、小笠川に流入する流れ

を管理する樋門、樋管を観察してみたい

と思います。

完成間近かの下前田川樋門（樋門：大型で箱型構造）



八王子樋管（樋管：比較的小型で構造が丸管）

菊川団地排水樋管

合流する川の水位が高くなった時に逆流しないように機能する大切な施設です。

発生・発見日時 令和 7年 3月22日 9時 50分頃

菊川水系菊川 左岸 (12km~13km付近)

東名高速の少し上流部に六郷樋管があります。ここから流れ出る排水は菊川市の市街地から



流れ出る生活排水が混ざっています。かつて
(下水が整備されていなかった時期)は、
この付近の菊川の水質はとても汚れていまし
た。 現在は魚が戻ってきて、野鳥たちも数
多く観察できるようになっています。

もうすぐ冬鳥も戻っていく時期ですね。

六郷(五丁目)樋管



本所第一樋管

水神樋管

菊川の土手を跨いで水を管理する重要な働きを担っている樋門、樋管を考えてみましょう。

発生・発見日時 令和 7年 3月22日 10時 30分頃

菊川水系菊川 左岸 (9 km~11 km付近)

三寒四温で春が近づいてきているようです。今日は天気も良く暖かです。



西方川合流地点の少し上流に若宮樋管があります。この樋管は小出川（おいでがわ）の流入部を管理しています。小出川には多くの生き物が生息する環境があります。なかには外来種もありますが樋管は生物の出入りも管理しているかもしれません。

若宮樋管



高田橋の橋梁の西側には菊川改修記念碑が建立してあります。また、この場所は菊川の環境基準地点となっていて、水質を測定する基準の場所でもあります。この橋のやや上流部にある上小笠川流入部と間に高田樋管があります。

高田樋管

上小笠川合流部は野鳥の楽園となっています。今日もたくさんの鳥が観察できました。

発生・発見日時 令和7年3月22日 11時30分頃

菊川水系菊川 左岸 (5.5km付近)

菊川下流水管橋水管橋（5.5km付近）周辺は昨年11月頃より大規模な護岸工事を実施して



いましたが、今日観察に伺うと工事はすっかり終了していました。

七曲樋門の周辺の土手はコンクリートで固められ、護岸は美しく整備されています。

災害に対する予防措置として工事の必要性は理解しなくてはいけませんが、殺風景な感じで

七曲樋門 す。



この場所は、野鳥の楽園でもありました。

この付近には川に中洲があり多くの野鳥が羽を休める姿が観察されていました。

今日もしばらく観察すると チュウサギが改修したばかりのコンクリートブロックの上で魚を狙っています。

環境が変わっても、鳥たちが再び集まってくれることを願っています。本日観察された野鳥は

アオサギ、チュウサギ、カワウ、オオバン、カモ類、ヒバリの鳴き声も聞こえました。

川では多種多様な鳥の声が聞けますね。

発生・発見日時 令和 7年 3月22日 11時 30分頃

菊川水系菊川 左岸 (5.5km付近)

牛渕川の下流部には小笠高橋川、江川、黒沢川が合流していて、それぞれ樋門があります。



高橋川は懐かしく風情のある小川です。

流域の長さも5km以上あり、生物の生息
状況の調査も実施したいと思わせる魅力が
あります。

先月は樋門から流出したゴミが大量にあつ
たが、今回は少なかったです。

高橋川樋門



江川樋門（裏側）



黒沢川樋門

牛渕川は高橋川の1.5km上流に支流江川があり、合流部に樋門があります。

江川の合流部の上流で丹野川と分岐し、さらに支流黒沢川があり樋門があります。

発生・発見日時 令和 7年 3月22日 14時 40分頃

菊川水系菊川 右岸 (6~7km付近)

下平川地域は住宅地が多く、市街地も近いため水害の対策が必要とされる場所です。



下平川堰の上流部は、緩やかな流れとなって

そろそろ北に戻るカモたちが遊んでいます。

堰の左岸、右岸には住宅地から流れ出た排水

を管理する樋管が設置されています。

河川に流入する支流がない場所でも排水など

の逆流対策の樋管が整備されています。

下平川堰・第一用水樋管



志茂組樋管



堤第一樋管

堰の上流部、下流部においても一定の間隔で樋管があることがあることがわかります。

発生・発見日時 令和7年3月22日 15時30分頃

菊川水系菊川 右岸 (9~11km付近)

菜の花が咲き始め、少しづつ緑が増えました。牛淵川の上流は豊かな自然環境があります。



天気も良く快適な状況で河原を散策して

いると、今回観察対象とした樋門、樋管の

ことなど全く気にしていなかったことを思

知らされた気がします。

地味だけど、有事に重要な使命を持っている

樋門、樋管について注目しましょう。

横地排水樋管



八幡井堰・八幡用水樋管

藪下排水路

上流部では大雨でも水位が高くならないためか、樋管の必要がない場合もあるようです。

樋門、樋管をテーマにして河川を見ることは面白かったです。

洪水時に支川や水路への逆流を防ぐための樋門・樋管は
重要な施設になります。